

令和5年第2回北方町総合教育会議 会議録

令和5年10月20日北方町教育委員会が、北方町役場まなびの広場に招集されたので会議を開いた。

本日会議に付した事件は次のとおりである。

日 程

- 第 1 令和6年度教育委員会の重点施策について
- 第 2 町長より
- 第 3 意見交流

1. 本日の会議の出席委員は、次のとおりである。

町長・・・・・・・・・・戸部 哲哉

教育長・・・・・・・・・・名取 康夫

教育委員・・・・・・・・林 明夫、安田 和夫、佐野 和美、村瀬 康一郎

1. 委員以外の出席者は次のとおりである。

課 長・・・・・・・・・・郷 展子

室 長・・・・・・・・・・各務 至

主 幹・・・・・・・・・・宮川 和文

主 幹・・・・・・・・・・高井 勇一

課長補佐・・・・・・・・高田 久佳

1. 課長補佐 午後3時30分 令和5年第2回北方町総合教育会議を開催する旨を述べる。
まず、町長より挨拶をいただく。

1. 町 長 今年度より義務教育学校2校が開校し、早くも半年が過ぎた。5月にコロナが5類に移行し、町としても色々なイベントを再開できている。学園の運動会も、特に北学園は1,000人規模で運動場も2つ使うと聞いており、どんな様子になるのか楽しみにしている。今のところ大きな問題も聞いておらず、順調な学校運営がされている様で少しは安心しているが、いじめの認知件数の増や、全国的な不登校児童生徒の増加傾向の中、町内でも増加しているようので、今後も教育委員のみなさんのお力添えをいただき、より良い学校にさせていただきよう願います。

1. 課長補佐 次いで、教育長より令和6年度教育委員会の重点施策について説明を求める。

1. 教育長

資料に基づき、令和6年度教育委員会の重点施策について説明する。

- 学校教育 たくましい北方の子の育成を目標に、地域・学校で取り組む増加傾向にある不登校児童生徒の対策に力を入れる一人ひとりが大事にされる魅力ある学校を目指す
(学びの多様化学校(分教室)の設置、民間不登校児童生徒支援施設利用者への補助、担当指導主事の配置)
- 社会教育 文化・スポーツの振興を図る
歴史資料室の整備(常設展示、テーマ別展示の実施)
歩け歩け運動、町民運動会の充実
北方学園クラブの推進

1. 町長

全国的に増えている不登校児童生徒について、原因は様々で、非常に難しい問題であることは認識しているが、だからと言ってそのまま放置しておくことはできない。校内教育支援センターは設置したが、学校内ではなく外にも同じような施設があれば、不登校児童生徒の新しい居場所になるのではと、教育長から話をもらい、町として学びの多様化学校を西体育館内に設置することを決めた。設置するからには、子どもたちが喜んで通えるような場所となるよう、みなさんの知恵をお借りして整備を進めていただきたい。また、もう一つの不登校対策として、民間の不登校児童生徒支援施設利用世帯への補助を考えているが、利用者が使いやすく、見掛け倒しの補助にならないような制度設計をお願いする。

町としては、大きな投資事業はほぼ完成しており、今後はソフト面、主に教育と福祉がメインとなってくると考えている。15年間一貫教育やICT教育、文化、スポーツの振興等々以外にも、教育委員会の事業は数も多く大変だとは思いますが、小さい町だからこそ、町が一つとなってできる事業が多くあると思っている。小さいことはこの町の良いところなので、その良さを生かし、色々な事業に沢山の住民に参加してもらい、お互いの絆を深められるような効果的な事業としてもらいたい。

部活動についても、北方学園クラブへの移行がスムーズに進んでいると聞いている。たくましい北方の子の育成には、勉強だけでなく体力的な部分も必要であると考えている。体育の時間や部活動を通して体力づくりも頑張ってもらいたい。

1. 林委員

いじめや不登校の問題については、道徳の授業をしっかりと実施することが非常に重要であるので、道徳の時間を大事にってもらうよう、学校の先生方にしっかりと伝えて欲しい。

学びの多様化学校の設置は大変喜ばしい。子どもや家族に希望を持たせられるような場所にしてもらいたい。対象の学年や人数は。

1. 教育長

今のところ、後期課程の8人程度を想定している。岐阜市の草潤中学校が40人

なので、人口規模を考えると十分だと考えている。体育館内に設置するため、アリーナを自由に使えることも魅力的だと思っている。登校が難しい場合には、オンライン授業も対応可能である。

1. 町長 南学園の生徒も入れるのか。
1. 教育長 南学園の生徒も通える。ただし、北学園へ転籍となる。
1. 林委員 募集はどのように行うのか。
1. 教育長 年度末にかけて年間30日以上欠席している生徒を対象に募集を行う。
1. 安田委員 学びの多様化学校を分教室型で設置するのは良いアイデアだと思う。他市町で話だが、フリースクールに通っている子どもの保護者が、フリースクールに通ってはいるが、学校との関係は断ち切りたくないとの思いもあって、所属校の通級指導教室に通っているケースもあるようだ。学校の一部ではあるが、離れた場所に通えるというのは非常に良いことだと感じている。
また、教員の働き方改革の観点から、教員業務支援アシスタントを配置していただいていることもありがたいが、さらに、学校に是非とも学校に高速カラープリンターを整備していただきたい。
1. 村瀬委員 北方西小学校跡地について、体育館は社会体育施設、学び多様化学校として残っていくが、他の校舎等は売却を予定しているのか。
1. 町長 体育館は社会体育施設、避難所として残すことを決めたが、校舎を活用するという考えはない。
1. 村瀬委員 学びの多様化学校を設置するには、特設教科が必要であるが、体育館のアリーナを使って体を動かすことは子どもたちに有効な活動であると思う。ただ、個人的には、一度不登校になってしまった子どもたちが再度登校しようとする際の阻害要因になっている大きなものの1つとして、学力の問題もあると考えている。学校に行けなくなる要因と戻れなくなる要因は必ずしも同じではないと考えている。カリキュラムに沿った授業も大事だが、通ってくる子どもの学習をしっかりと支援してあげられる仕組みがあると良いと思っている。
話は変わるが、15年一貫教育について教えて欲しい。
1. 教育長 昨年度、15年間のカリキュラムを作成し、学校、こども園、保育園で共有して

実施している。

1. 村瀬委員 保育園、こども園と前期課程、また前期課程と後期課程とのつながり、情報の共有により、いわゆる小1ギャップや中1ギャップに対し、このカリキュラムが有効に働くと感じている。
また、年1回の歩け歩け運動も良いが、ウォーキングの推進のために、今あるウォーキングコースの見直しをしても良いのでは。
1. 佐野委員 北学園への教育委員会訪問に際し、教育長が来年度から不登校に対して本気で取り組むと言っていたが、こんなに早く形になりそうでとても良い事だと思っている。
不登校児童生徒は本人だけでなく保護者も悩みも抱えていると思うが、その辺りのサポートは考えているか。
1. 教育長 現在も、スクールカウンセラーやスクールハートサポーター、校内教育支援センターで対応したり、つながりのある医療機関の医師に相談したりしているが、今後も継続して続けていきたい。
1. 佐野委員 15年一貫教育のカリキュラムも大切であるが、子育てはみんな手探りで、困っていることも多いと経験上からも感じている。幼少期から子育てについて保護者が相談しやすい環境づくりを福祉と協力して行って欲しい。
1. 町 長 入学前の6年間については重要視しており、保健センターを充実させて、力を入れて取り組んでいく。
1. 課長補佐 他に質疑がないことを確認し、午後4時40分、本日の付議事項がすべて終了した旨を述べ、本会議の終了を告げた。